

(様式 1)

■ 環境省「エコツーリズム推進アドバイザー」 派遣申請書 ■

To: (財)日本交通公社「エコツーリズム推進アドバイザー派遣事業」事務局

FAX:03-5208-4706 / E-mail:eco-jimu@jtb.or.jp

\*派遣申請書は4枚ありますので、すべてご記入のうえ、ご送付ください。

\* (財)日本交通公社がエコツーリズム推進アドバイザー派遣事業の事務局を務めております。

申請日: \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

Q 1 派遣を希望する地域もしくは団体名をご記入ください。

--

Q 2 現在の活動状況について下記の中から1つだけ選んで○印を付けてください。

1. エコツーリズムへの取組を検討している時期 (「胎動期」)	
2. エコツーリズムへの取組をはじめて間もない時期(「始動期」)	
3. エコツーリズムに取り組んできて改善が求められている時期 (「改善期」)	

Q 3 エコツーリズムに取り組むもしくはこれから取り組もうとする「きっかけ」についてあてはまるものすべてに○印を付けてください。

1. 従来観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため	
2. 「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため	
3. 地域の活性化に貢献するため	
4. 地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため	
5. 地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため	
6. 地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため	
7. 現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため	
8. その他 (「きっかけ」について下欄にご自由にご記入ください)	

Q 4 地域もしくは団体における「エコツーリズム推進の目的」をご記入ください。

--

Q 5 エコツーリズムの対象となる「自然観光資源」についてあてはまるものすべてに○印を付けてください。

1. 動植物 (クジラ、イルカ、ウミガメ、ホタル、チョウ、ブナなどの巨木など)	
2. 動植物の生息地・生育地 (海鳥の集団繁殖地やサンゴ礁、湿原など)	
3. 地形・地質 (滝や風穴、噴泉塔など)	
4. 自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源(※)	
5. これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない	

※棚田、魚垣(ながき)、半自然草原と火入れ、カバタ(湧水を家に引き込みその水を炊事や洗濯に利用する仕組み) など

Q 6 エコツーリズムの推進組織の有無について該当するものに○印を付けてください。

1. 存在する	
2. 存在しない	

(Q 6で「1. 存在する」と回答した場合、次のQ 7～Q 9にお答えください)

Q 7 エコツーリズム推進組織の名称をご記入ください。

※また、また、協議会の役員一覧を本申請書に添付してください。

--

Q 8 エコツーリズム推進組織の取組状況について該当するものに○印を付けてください。

1. 行政が主導的な役割を果たして活動が進められている	
2. 地元住民が主導的な役割を果たして活動が進められている	
3. 観光等の事業者が主導的な役割を果たして活動が進められている	

Q 9 エコツーリズム推進組織の具体的な活動状況について、以下の空欄にご記入ください。

--

Q 10 貴地域をフィールドに活動する①ガイド組織、②エコツアー関連事業者の有無について該当するものに○印を付けてください。

	①ガイド組織	②エコツアー 関連事業者
1. 地域内に存在する		
2. 地域外ではあるが存在する		
3. 存在しない		

(Q 10で「1. 地域内に存在する」「2. 地域外ではあるが存在する」と回答した場合、次のQ 11～Q 12にお答えください)

Q 11 ガイド組織の名称をご記入ください。

--

Q 12 エコツアー関連事業者の名称をご記入ください。

--

Q 13 今後、地域でエコツーリズムを推進していくにあたり、参加や連携が想定される参加者や団体などについて、ご記入ください。

--

Q14 「現在取り組んでいるエコツアーの種類」及び「取り組みを検討しているエコツアーの種類」について該当するものすべてに○印を付けてください。

	現在取り組んでいる	取組を検討している	取り組む予定なし
1. 原始的な自然におけるエコツアー（トレッキングツアー、キャンプツアーなど）			
2. 地域に特有な野生生物とのふれあい（ホエールウォッチング、野鳥観察会など）			
3. 自然の営みにふれる観察会への参加（星空観察会、自然散策会など）			
4. 環境教育を主目的とした活動（修学旅行の体験プログラムなど）			
5. 農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動（植林・下草刈り体験など）			
6. 自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動（里山ウォーキングなど）			
7. 地域の生活や文化を体験する活動（里山の管理・再生についての学習など）			
8. 環境保全のための貢献活動（植生回復ボランティアなど）			
9. 自然の中でゆったりとした時間を過ごしながら自然の恵みを体感する活動（体験滞在型観光など）			

Q15 上記以外について現在取り組んでいるもの、又は検討しているものがあればご記入ください。

現在取り組んでいる	
取組を検討している	

Q16 現在の地域の課題についてご記入ください。

Q17 アドバイザー派遣の目的についてご記入ください。

Q18 アドバイスを希望する内容にあてはまるものすべてに○印を付けてください。

胎動期	1. どのようなものが地域資源となり得るか、地域資源（宝）さがしの方法	
	2. 地域資源の保全と活用の両立が成り立つ方法	
	3. 核となる人材・組織の育成方法	
	4. 地域や団体への啓発方法	
	5. 適正な取組地域の設定方法（ゾーニング）	
	6. 多様な主体間の連携、利害関係の調整、合意形成の方法	
	7. 行政と民間の役割分担	
始動期	8. 効果的、効率的な組織を立ち上げるための人材・組織の育成方法	
	9. 資源を持続的に利用可能としていくためのルールの設定方法	
	10. 地域資源の活用方法	
	11. エコツアーを業として成り立たせるための仕組みづくり	
	12. 環境教育の実施の方法	
	13. ガイドの方法	
	14. ガイドの人材育成	
改善期	15. 地域資源の効果的な保全手法	
	16. オーバーユースに対するルールの設定方法	
	17. モニタリングの方法	
	18. ガイド技術のブラッシュアップの方法	
	19. 農林水産業等、地元産業との連携方法	
(その他、希望する内容があればご記入ください)		

Q19 アドバイザーの助言・指導を取組に反映させる方法についてご記入ください。

--

Q20 アドバイザー派遣の申請に係るご担当者の連絡先をご記入ください。

団体名		
所属	(部署名)	(役職名)
ふりがな		
ご氏名		
ご住所	〒	
TEL、FAX	(TEL)	(FAX)
eメールアドレス		